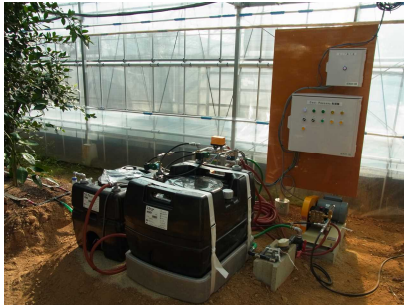


試験研究活動情勢報告（令和元年 9 月分）

【果樹試験場】

ハウスミカンの更なる生産性向上に向けて細霧装置を導入



細霧装置

ハウスミカンに湿度保持による光合成能力向上、発芽促進、温度低下による着色向上効果を狙った試験を実施するため、細霧装置を導入しました。ハウスミカンは、冬から春先の乾燥した季節に、新梢伸長期や果実肥大期を迎えるため、炭酸ガス施用との相乗効果で更なる良好な生育が期待できると考えています。

果樹試験場のお仕事の勉強！ ～朝倉小学校 2 年生来場～



圃場見学

9 月 25 日、朝倉小学校の 2 年生 80 名が果樹試験場の仕事を見学にきました。「試験場ではどんな果物が作られているのか。」「新高なしはどのように栽培されているのか。」など、圃場見学、クイズ、試食とたくさんの質問をしながら勉強していきました。果樹試験場では、身近なところからも、くだものの魅力を PR していきます。